

H& by POOL

Story From Archives



「H& by POOL Story From Archives」 アーカイブエキシビション開催のご案内

会期：2024.3.9 Sat - 3.25 Mon 11:30 ~ 20:00 (土日祝 11:00 ~ 20:00)

会場：IDÉE GALLERY AND BOOKS 東京都目黒区自由が丘 2-16-29 イデーショップ 自由が丘 4F

展示デザイン：阿部真理子 (A.B.E)

「H& by POOL (ハンドバイプール)」は、2021 年秋に、minä perhonen の皆川明さんと共にゆっくりと取り組みを始めたイデーのウェアシリーズです。この度、一般的な服づくりとは少し違う流れをたどるこの小さなブランドの、アーカイブエキシビションを行います。

2015 年、ものづくりの過程で発生するハギレ・端材などを使用し新たな価値のある商品をつくるプロジェクト「POOL」を皆川さんとスタート。その後、日本各地の生産地で、ロットの都合、少しの色違い、予期せぬオーダーキャンセルといったさまざまな都合により、とても質の良い素材が少しずつ余ってしまったのを知ったことから「H& by POOL」がはじまりました。行き場をなくした種類も量もさまざまな残反・残糸・はぎれを集め、その素晴らしい素材から刺激を受け何ができるかを考えました。洋服にお客様が袖を通した時に、生地や糸を紡いだ生産者の方々の思いや技術の高さが伝わるようにとイメージしながら、素直に、楽しく、丁寧なものづくりを心がけています。

これまでに出会った素材とつくってきた洋服のアーカイブをあらためて手に取っていただき、その背景にも触れていただく「H& by POOL」の初めてのエキシビション。ぜひご注目ください。

H& by POOL

Human
人と人がつくる。

Heart
ものづくりに心を込める。

Help
誰かの助けになる。

Hold
失われゆくものを守る。

Happiness
つくり手にも、使い手にも
しあわせを。

Hand to Hand
手から手へ、想いを届ける。

Heritage
伝統をかたちに。



洋服づくりは生産計画をたて、まず何枚作るかを決める。H& by POOLはあまっている素材から考えるので、何枚しかつけれないという限りがあるのが面白いところ。

新しい生地をつくるのはとても楽しいが、過去につくられた素晴らしい生地をつかって服作りするのも刺激的なこと。

素材を活かしてできるだけ手を加えずにつくる。形は同じでも素材はさまざま。そうすることであまっている素材を無駄なく使うことができる。

あまってしまった素材がなくなること、いつかのブランドが必要でなくなるのが、目標のひとつ



photo by Shoji Onuma

皆川 明 (みながわ あきら) / minä perhonen デザイナー

1967年生まれ。1995年に「minä perhonen」の前身である「minä」を設立。ハンドドローイングを主とする手作業の図案によるテキスタイルデザインを中心に、衣服をはじめ、家具や器、店舗や宿の空間ディレクションなど、日常に寄り添うデザイン活動を行っている。デンマーク Kvadrat、スウェーデン KLIPPAN などのテキスタイルブランドへのデザイン提供、新聞・雑誌の挿画なども手掛ける。

IDÉE

1982年にスタートした日本のインテリアブランド「イデー」。「美意識のある暮らし」をコンセプトに、国内外のデザイナーと作ったオリジナル家具、セレクトしたテキスタイルやプロダクト、グリーン、音楽や本など幅広く紹介しています。さらに「Life in Art (日常芸術)」を掲げ、有名無名、時代性を問わず、そのクリエイションに共感するアーティストや作家の作品から、造形や経年美をもつヴィンテージデザイン、手の営みを感じるクラフト、遊び心溢れるアップサイクルまで、多様な価値観や見立てで、美意識のある暮らしを育む「もの」や「こと」を提案しています。

[Press Contact] ご質問、取材や掲載に関する
お問合せはプレス担当までご連絡ください。

竹形尚子 (デイリープレス)
090-1531-6268 / 03-6416-3201 naotakegata@dailypress.oprg